

先生各位

LOX-index検査の報告書文言追加のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、LOX-index検査につきまして、測定委託先より、報告書の監修に関する文言を追加する旨の連絡がありましたので、以下の通り、ご案内申し上げます。何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

■実施日 2019年 10月 1日（火）測定委託先発行分より

変更点:

以下、本報告書に関しまして、専門医師である神戸労災病院の井上信孝先生による監修を頂いている旨を明記致しました。記載箇所は、報告書レポート上の中面左側ページ、総合評価コメントの欄外となります。

0 0 2 4 6 8 10
LAB (μg cs/mL)

前々回の結果 (2016/1/8)

LOX-index とは?

動脈硬化の初期段階は、超悪玉コレステロール LAB (酸化変性LDL)と超悪玉コレステロールの担い手である LOX-1 が結合することにより起こると考えられています。そのため LOX-index[®] は、LABと LOX-1を測定・解析することで、動脈硬化の初期段階を捉えることができます。また日本国内で行われた追跡研究の結果、LOX-index[®]が高いと将来の脳梗塞発症率は約3倍、心筋梗塞発症率は約2倍となることがわかっています。LOX-index[®]は脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクを評価できる、唯一の検査です。

総合評価コメント

超悪玉コレステロールLAB、超悪玉コレステロールの担い手LOX-1がともに平均的な結果であり、血管障害リスク（血管が傷む危険性）も平均的であると考えられます。

しかし、安心は禁物です。脳梗塞や心筋梗塞は、様々な要因から発症します。今回の検査結果は、動脈硬化の主な原因と考えられている血管障害リスクの一つを示しているに過ぎません。特に加齢にともなって、動脈硬化が進みやすい状態になりやすくなります。

今まで以上に健康を意識した生活習慣を心がけて下さい。特に、高血圧、高血糖、肥満、喫煙など、他の血管障害リスクを持っている人は十分注意して下さい。

※本報告書は、検査検査項目に本検査項目の追加がなされたことにより、本報告書は神戸労災病院、井上信孝先生にご監修いただいております。

ご不明な点等ございましたら貴院担当もしくは弊社お客様窓口までお申し付け下さい。